

以前、スキューバダイビングを少しばかり経験したことがありますが。自分がタンクの空気を吸ったり吐いたりする呼吸音しか聞こえない海の中で、色とりどりのサンゴ礁の間を、木の葉のようにヒラヒラ泳ぐ小さな魚同士が突つき合いけんかする様子を見て、「ここにも生活があるんだ」と感じたものです。海の中の静かな生活を壊してはいけない。そんな思いから、海中を漂うビニール袋などの人間の生活ごみを、一つ、二つ、拾っては持ち帰るようにしていました。

「タンカーが座礁して油が流出」「ミサイルが海に落下」。こうしたニュースを聞くと、人命が失われていることを確認して安堵しつつも、その海域は一体どうなっているのかと考えてしまいます。ドロドロした黒い油に覆われた真つ暗な世界に変わってしまったのではないかと。私たちができることは何か――。

まず必要になるのは、海洋汚染の被害を最小限に抑えること。JICAは海上保安庁の協力の下、油防除の技術などに関する協力をさまざまな国に対して行っています。また、海洋環境保全という意味では、水産資源の適切な管理も重要です。最近、近畿大学と豊田通商が、卵から成魚まで人工育成する完全養殖クロマグロ「近大マグロ」と、完全養殖ブリの海外輸出を本格的に始めることを発表しました。水産資源の持続可能な利用を実現するために、知恵と技術を駆使して世界に打ち出していくことも、世界有数の水産物消費国である日本が貢献できる分野だと考えます。

地球の表面積のおよそ70パーセントを占め、地球の生命維持システムにとってなくてはならない海洋を守っていくことは、人類の将来にも関わることです。他人事ではなく、自分自身の事として何ができるのか。これからも考えていきたいと思います。

JICA広報室報道課長 竹田幸子

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2017年12月15日

Eメール：jica@idj.co.jp  
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① タイのビーチサンダル
- ② 書籍『クリーンダッカプロジェクト  
ゴミ問題への取り組みがもたらした社会変容の記録』（p37参照）
- ③ 書籍『日本人の9割が答えられない  
世界地図の大疑問100』（p37参照）



①



②



③

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形で送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送を手配いたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)  
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F  
TEL 03-3221-5583  
FAX 03-3221-5584  
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2017年12月1日発行予定)

## 社会福祉

少子高齢化や介護の担い手不足などの問題を抱える日本。高齢者も障害者も、誰もが暮らしやすい社会づくりは、近年、アジアを中心とした開発途上国でも重要なテーマとなっています。全ての人が自分らしく生きるための取り組みを紹介します。

**mundi**

NOVEMBER 2017 No.50

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>) でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。